

主の降誕 日中のミサ

ヨハネ 1・1-18

2023.12.25 10:00 ミサ
カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

皆さん、主のご降誕おめでとうございます。

昨夜からわたしたちは、この教会でも全世界の教会と心を合わせて、主の降誕——救い主が歴史の特定の時に特定の場所で人としてこの世に来られた——そのことを思い起こすと同時に、その救い主が今もわたしたちと共にいらっしゃる、そのことを改めて、信仰を通して思い起こしています。ですから、救い主の誕生をお祝いするという事は、わたしたちが神様に導かれて絶えず新たに生まれるということへの希望を新たにするという事でもあります。

教会は、その信仰を通して新たに生まれることを絶えず神様の恵みの一番の形と言うか、神様への道として、いつもミサを通して思い起こし続けています。それは、死と復活です。死と復活は、決してこの肉体の命が終わったあとの永遠の命への希望を表わしているだけではありません。わたしたちは、絶えず色々な状況が変わっていく、その中で、その時まで頼りにしていたいろんなことやいろんな人、そういうことが失われていっても、今度は自分のほうが新たに換えられることを通して、また新しく与えられる状況を愛をもって受け取っていくようになる、それを「復活」と言うことができるわけです。

いつも主の降誕の日中のミサではヨハネの福音書の冒頭の部分が朗読されますけれども、この冒頭の部分は、イエス様のことを語っているところと、それからそのイエス様を迎えるようにと呼び掛ける洗礼者ヨハネについて語るところとが交互に配置されていることが、読み返してみると分かると思います。イエス様、洗礼者ヨハネ、イエス様、イエス様、洗礼者ヨハネ、イエス様っていう、大雑把に分ければそういう順序なんです。イエス様・ヨハネ・イエス様、イエス様・ヨハネ・イエス様だから、イエス様のところが真ん中で重なってますけど、その中心は、洗礼者ヨハネの呼び掛けに答えてというか、みことばを受け入れた人とはどのような者かについて、人間の側の応答と、そして神様がわたしたちに語りとうとする、そこが重なる部分です。それ

は、「しかし、^{ことば}言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた」(ヨハネ1・12)、この次からです。「この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである」(ヨハネ1・13) というところが中心になります、この人々が何者かって言う。

「欲」っていうふうに日本語で訳してしまっていますが、元々の言葉——新約聖書はギリシャ語で書かれていますけど——「テレーマ」(θέλημα)っていうのは神様についても使われて、その場合は神の「望み」と訳されます。ですから肉の欲、人の欲というよりも「人の望みによってではなく、肉の望みによってではなく、神によって」っていう方が自然です。そこでは、わたしたちがキリスト信者になる、それが何か自分の今望んでいることが実現してほしいという——神様と離れて自分の中にあるそういう人間の要素を「肉」っていうふうに福音書は表現しますが——そういう望みからわたしたちは信者になったのではないんだ、っていうことを言っているわけです。

「先祖代々ずっとうちはカトリック信者だからカトリック信者なんでもない。また、何か自分の願い事を神様が叶えてくれることを期待して信者になったのでもないんだ。神様に呼ばれたから、わたしたちは信者になりました」っていうことを、このヨハネの福音書は荘厳な言い方によって確認しているわけです。

一人ひとりの中に、神様の呼びかけがある。神様に呼ばれて、じゃあその呼び掛けに応えるにはどうしたらいいのかを、絶えず祈りとみことばと対話することを通して示されていく。自分の中の思いから脱していくことを通して、神様の望みが自分の中に入って来る、私たちはその希望を持っている者たちです、っていうふうに、ヨハネの福音書の冒頭の部分は宣言していると言うことができるでしょう。

それは簡単なことではないし、ミサに参加したからすぐに実現するものでもない。しかし、絶えずイエス様をわたしたちの中にお迎えするんだっていう希望を、御聖体拝領を通して、また日々の祈りを通して、自分自身に言い聞かせ続ける、そのことが信仰生活だし、そのためだったらいくらでも神様は助けてくださると信頼して良いんだと思います。

一人ひとりが、今置かれている状況を思い起こしながら、その中で神様の望みに出会い、そしてそれを生きていくための力を願い合いながら、新たに信仰生活を、日々

神様から新しい力を頂いて、そしてもう一回、何度でも歩み始める、その思いを新たにしながら、このごミサを通して互いのうちに恵みを願いたいと思います。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>